

デュアル・ゴールド財務戦略

ビットコインと金、デジタルとリアルの2つのゴールド保有による革新的な財務戦略



エグゼクティブ・サマリー：財務のパラダイムシフトと5つの核心

「現金は安全資産である」。長きにわたり日本企業を支配してきたこのドグマは、構造的なインフレーションと円安の進行により、もはや過去の遺物となりました。 バランスシート上の「日本円」は、何もしなくとも々その購買力を失う「確実な損失資産」へと変貌しています。

私たちが提言するのは、人類最古の価値保存手段である「金（リアルゴールド）」と、デジタル時代の革命的資産である「ビットコイン（デジタルゴールド）」を組み合わせた「デュアルゴールド・トレジャリー戦略」です。



1 デジタルとリアル、逆相関の2つのゴール드의組み合わせによる、リスクヘッジとリターンの最大化



2 円安とインフレに対する鉄壁の防衛



3 株式市場と逆相関の金を保有することによる株式市場暴落へのヘッジ



4 「シャノン・デーモン」効果によるポラティリティの利益化



5 保守的投資家の理解を得やすい金(GOLD)の組み込みによる投資家層の拡大

サイレント・クラッシュ：「溶ける氷」からの脱却

何も失敗していないのに、
巨額の損失が発生している。



もし当社が100億円の現金を
保有し、インフレ率が3%で推
移した場合：

- **3億円**の実質購買力が
1年間で消失
- **約14億円**の実質購買力
が5年間で消失

現金を「価値の保存機能が高い資産」へ転換する必要があります。

デジタルとリアル、2つのゴールドによるリスクヘッジとリターンの最大化

性質の異なる二つの「無国籍資産」を融合させ、ダウンサイドリスクを抑制しつつ、法定通貨の減価を上回る資産成長を目指す。

ビットコイン (デジタルゴールド)

ポートフォリオの
成長エンジン (攻め)

数学的・プログラムの必然性
による長期的な価値上昇。



金 (リアルゴールド)

不変のアンカー
(守り)

市場の混乱時 (リスクオフ
局面) に価値を発揮。

なぜビットコインなのか？ — 希少性(S2F)の歴史的逆転

ストック・フロー比率(S2F)とは、「市場に存在する総量（ストック）」を「年間の新規供給量（フロー）」で割った指標。数値が高いほど希少性が高い。

金 (Gold)

長らく地球上で最も硬い資産



ビットコイン (BTC)

理論上、金よりも『硬い』資産へ

歴史的に、S2Fが高い貨幣は、低い貨幣の価値を吸収し駆逐してきました。
ビットコインの長期的な右肩上がりは、この必然性にあります。

なぜ金なのか？ — 成長と安定を両立させる「低い相関」



この「相関の低さ」こそが鍵です。一方のリスクを他方がカバーし合うことで、ポートフォリオ全体のリスク（変動幅）を抑えつつ、ビットコインの持つ爆発的な成長力を取り込むことが可能になります。

第2の柱：円安とインフレに対する鉄壁の防衛

日本経済は「構造的な円安圧力」「実質マイナス金利の常態化」という課題を抱えています。

円安・インフレ圧力

先行企業はDAT戦略（円建てで負債でBTC購入）を採用。
これは「価値が希薄化していく通貨（円）のショート」と「価値の保存
機能が高い資産（BTC）のロング」を組み合わせた合理的な取引です。

私たちはそこへさらに「金」を加えることで、より堅牢な防衛網を
構築します。



追い風となる税制改正 — 長期保有と複利効果の最大化

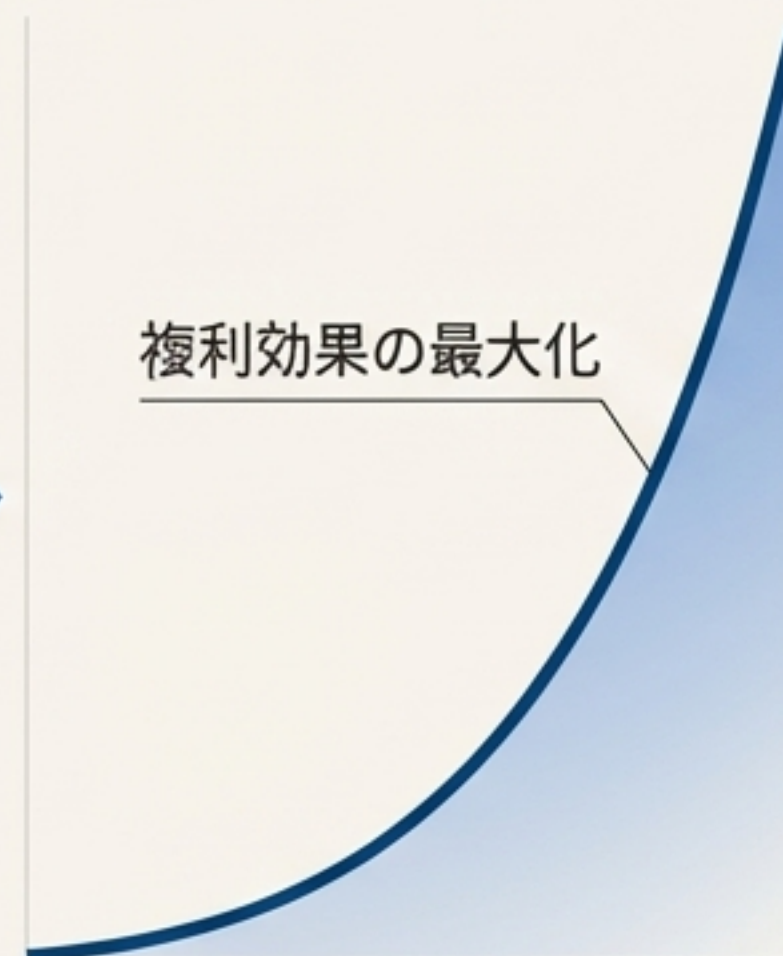
2025年度の税制改正議論

- 企業が長期保有する暗号資産に対する「期末時価評価課税」の適用除外が現実味を帯びてきました。
- 含み益に対する課税キャッシュアウトのリスクが消滅。複利効果を最大限に活かした長期保有が可能に。

Before（現行制度）



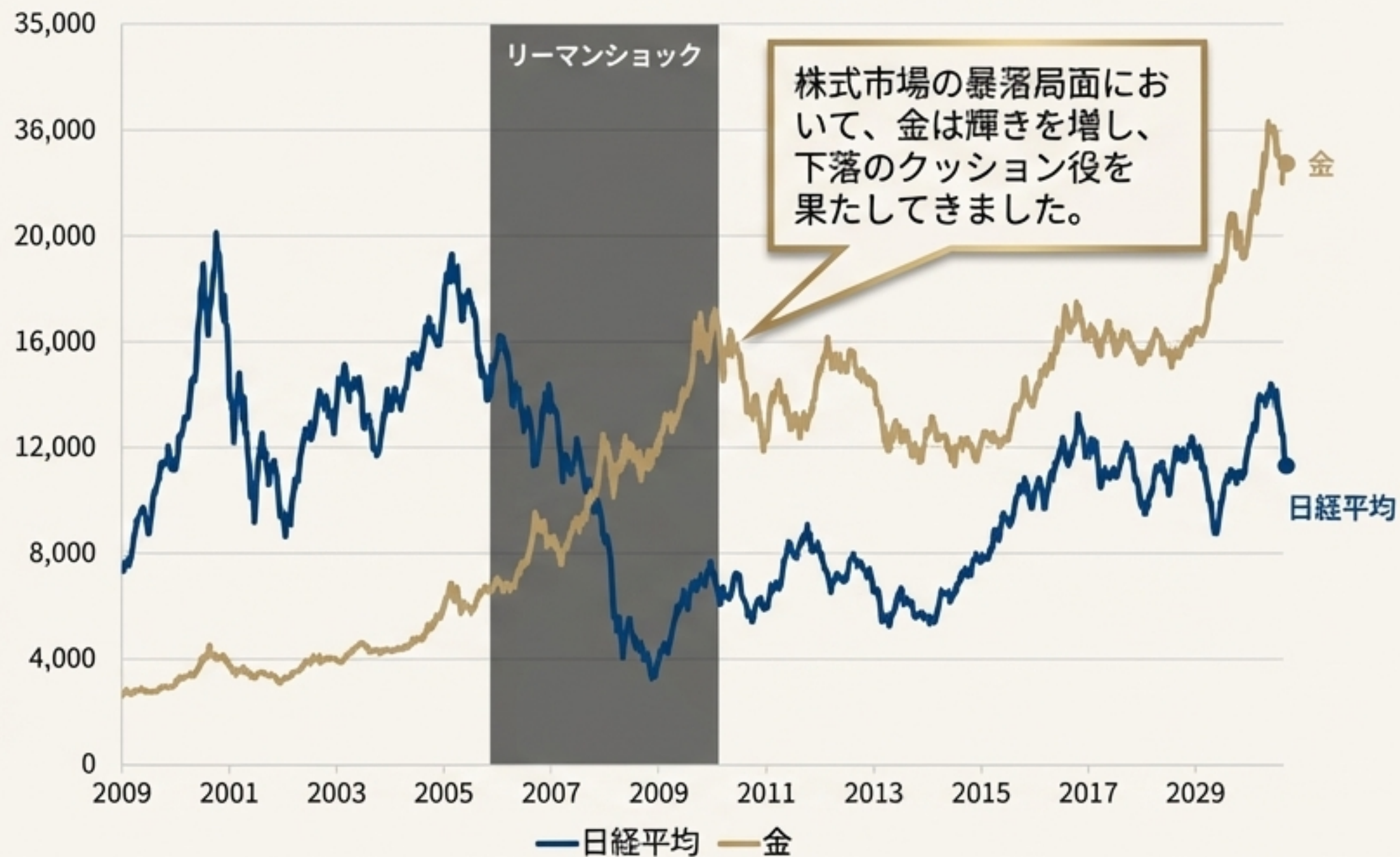
After（改正後）



第3の柱：株式市場暴落へのヘッジ

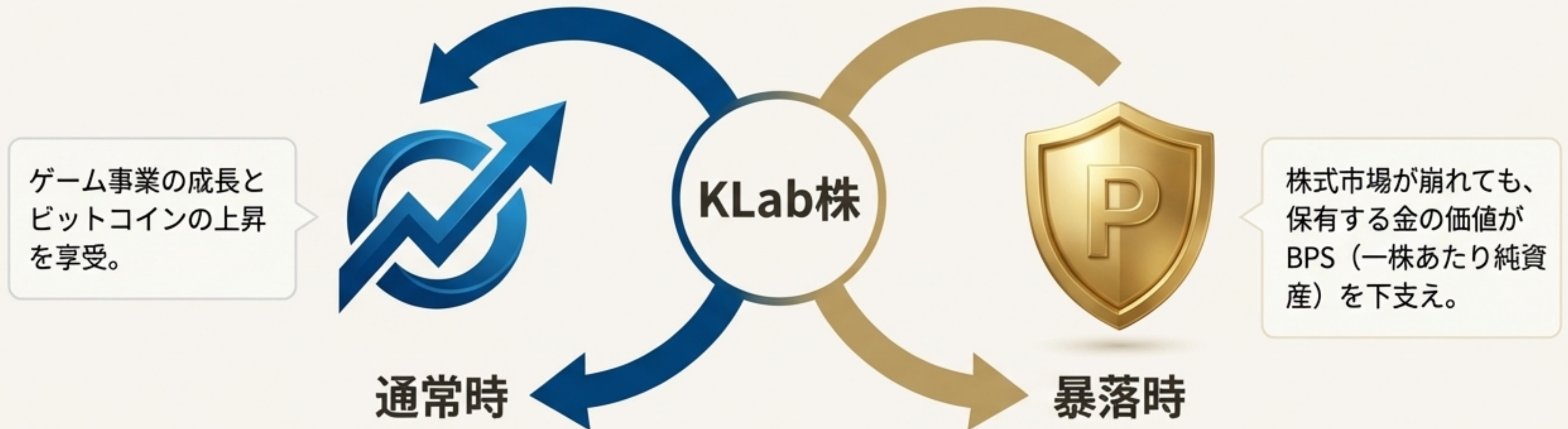
財務戦略によって、株式市場全体の影響（システマティック・リスク）から独自の防衛線を築く。

伝統的に、金はS&P 500や日経平均などの主要株式指数と「逆相関」あるいは「無相関」の関係にあります。



KLab株 = 「成長するプットオプション」

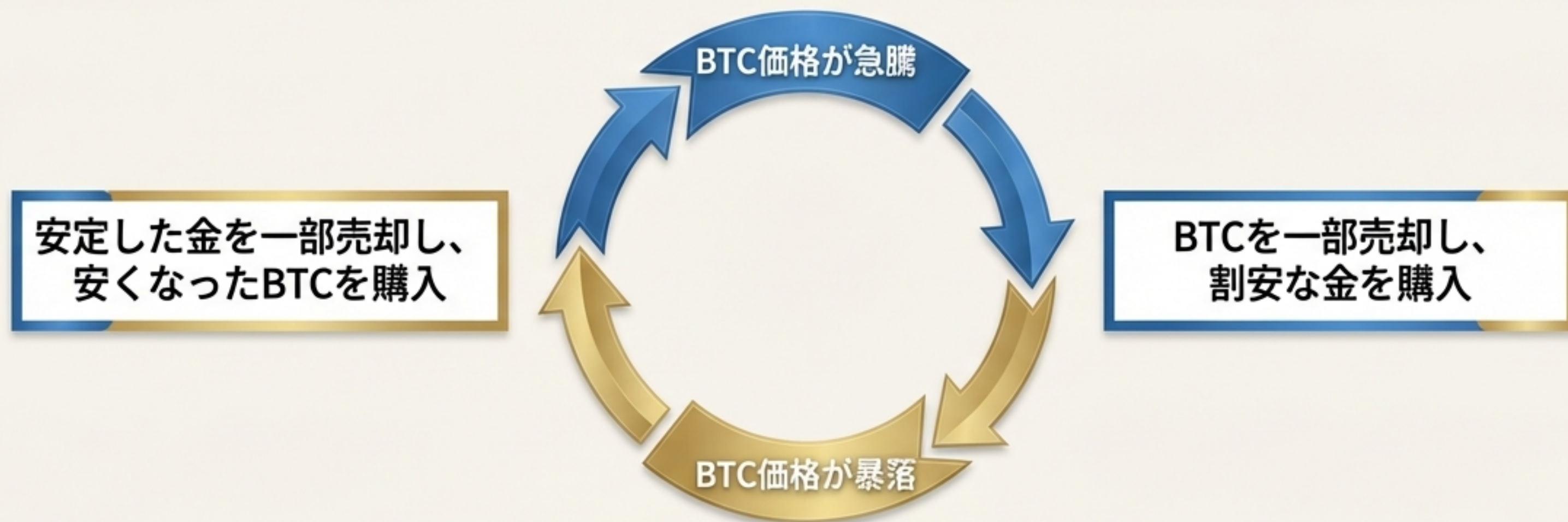
バランスシートに金を組み込むことは、KLab株自体に「不況抵抗力」を付与することを意味します。



投資家の皆様はKLab株を保有することで、ご自身のポートフォリオ全体の
リスクを軽減する「保険」のような効果を期待できます。

第4の柱：「シャノン・デーモン」効果によるボラティリティの利益化

- **懸念：**「ビットコインはボラティリティが激しすぎる」。
- **我々の視点：**「ボラティリティは『リターンの源泉』へと転換できる。」
- **理論：**「情報理論の父クロード・シャノンが提唱した「シャノン・デーモン」を応用。」



この規律ある動作を機械的に繰り返すだけで、市場の変動そのものから「リバランス・ボーナス」と呼ばれる追加収益が生まれます。

実証分析：バックテストが証明する「第三の収益」

リバランス効果により、「両資産を単に保有し続けた場合（Buy & Hold）」よりもトータルリターンが高くなるケースが多い。

ポートフォリオパフォーマンス比較（バックテスト推計）

指標	株式60債券40	ビットコイン単独	デュアルゴールド戦略 (BTC 60 + Gold 40)
年平均リターン (Ann. Avg. Return)	普通（8-10%）	極めて高い（80%+）	高い（20-30%超）
ボラティリティ (Volatility)	低い（10-12%）	極めて高い（60-80%）	中程度（抑制される）
シャープレシオ (Sharpe Ratio)	普通（0.5-0.8）	高い（1.0-1.5）	非常に高い（1.5超）
最大ドロウダウン (Max Drawdown)	限定的（-20%）	壊滅的（-80%）	管理可能（-30%程度）

VanEck社等の公開データを基に構成。

第5の柱：信頼への架け橋 — 投資家層の拡大



The KLab Approach

歴史的信頼のある「金」をポートフォリオの核に据えることで、保守的な投資家の皆様にも納得いただける「安心感」を提供します。
「金で守られたビットコイン投資」という
唯一無二の解です。

Governance Commitment

本戦略の対象は、コモディティとしての性質を持つビットコインのみに限定し、イーサリアム等のアルトコインは含みません。この厳格な規律は、BlackRock や Fidelity といった世界最大級の資産運用会社の基準にも合致し、上場企業としてのガバナンスを担保します。

企業価値の新たな礎

【保護】

通貨価値の毀損という確実なリスクから資本を保護する。

【成長】

相関性のない2つの硬質資産の力を活用し、資産を成長させる。

【転換】

ボラティリティをリスクから収益の源泉へと転換する。



本戦略の採用により、KLabは単にバランスシートを強化するだけでなく、財務革新のリーダーとしての地位を確立します。いかなるマクロ経済環境下でも、私たちのコアビジネスが繁栄できる強靱な基盤を構築するのです。